

令和 7 年度 第 2 回 摂津市 廃棄物 減量 等 推進 審議会 議事録

日 時：令和 8 年 1 月 19 日 10:00～11:00

場 所：摂津市環境センター 新館 3 階 見学者室

参加者：審議会委員：尾崎会長、大下副会長、榎谷委員、阪本（剛）委員
阪本（舞）委員、島内委員、中西委員

事務局：吉田部長、環境業務課：三浦課長、衣川課長代理、大渡主事
環境政策課：齊藤課長代理、由比主事

資 料

- ① 令和 7 年度第 2 回 摂津市 廃棄物 減量 等 推進 審議会 資料
 - ② 目標一覧
 - ③ 摂津市一般廃棄物処理基本計画（後期）中間見直し（案）
 - ④ 摂津市一般廃棄物処理基本計画中間見直し（案）新旧対照表
 - ⑤ 令和 7 年度第 2 回 摂津市 廃棄物 減量 等 推進 審議会 資料 追加資料
 - ⑥（素案）生活排水処理基本計画
 - ⑦ 新旧対照表（生活排水処理計画分）
 - ⑧ 令和 8 年度 摂津市 一般廃棄物 処理 実施 計画
-

【議事】

1 一般廃棄物処理基本計画中間見直し案について

資料に沿って事務局より説明

【質疑応答】

副会長：令和 12 年までの目標値を設定しているが、モニタリングについてはごみ組成分析調査となるのか。また、ごみ組成分析調査は事業系も含めて摂津市と茨木市合同で実施しているのか。それとも、独自に実施しているのか。

事務局：ごみ量等のモニタリングについては、詳細な年間量を量る手段がないため、全体量からごみ組成分析調査結果をもとに算出している。また、ごみ組成分析調査は家庭系・事業系ともに摂津市独自で実施している。

会 長：ごみ組成分析調査は調査対象が一部地域のごみに限られるので、その結果に一喜一憂しすぎないことも大事である。対象地域を増やして調査したとしてもどの程度ごみ種ごとのごみ量の精度が向上するか分からないため、着実に進めることを前提としつつも精度の問題はあるということ認識しておくことで良いと考える。

会 長：令和 12 年度目標値を決めるうえで事業系のごみをどう減らすかがポイントとなる。今回、事業系の剪定枝が一律に減っていく予測になっているが、本来、市でコント

ロールできる値ではないと思うがどうなのか。

事務局：剪定枝については経年の推移をみて減少傾向としている。また、剪定枝は資源でも計上しており、リサイクルプラザでチップ化する取組を実施しているため、そちらに移れば事業系ごみとしては減少も見込めると考えている。ただし、事業系についてはコントロールできない部分のため、近年の減少傾向が続くのかは今後の推移を見てみないと分からない。

副会長：剪定枝はどのようなところから出ているか把握できているのか。例えば国の一級河川の剪定枝も摂津市のごみとなるのか。

事務局：河川の分も摂津市の剪定枝として処分されている。学校は当課職員で収集しており、公園は水みどり課が所管のため把握できているが、企業の樹木剪定に関しては事業系として処理させていると思われる。

会長：事業系の紙ごみは、商工会にチラシ配布を依頼して取り組むとのことだが、事業系の厨芥類の減少対策について何か取り組む予定はあるのか。

事務局：毎年、多量排出事業者に減量目標計画を提出してもらっているが、その後の取組に繋げることが出来ていなかった。今後は厨芥類の排出量が多い事業者にアプローチすることを検討する。

会長：未使用食材も少しあるので事業系でフードドライブ等の仕組みができるのかも含めてまずはヒアリングを行うことを進めてほしい。

副会長：ごみ組成分析調査でレジ袋と判定する時に、店頭で配布または購入したレジ袋か、市販で購入されたビニール袋かの判定はできているのか。

事務局：ご指摘のとおり、適切に判定できていない可能性はある。

副会長：ごみ組成分析調査の際に、店のラベルが入っているものと無地のものに分けてもらうような工夫をしてほしい。

事務局：次年度のごみ組成分析調査で検討する。

【その他報告事項について】

事務局：パブリックコメントを2月3日から3月3日まで実施する。

パブリックコメントの結果、大幅な修正が必要となった場合は臨時で審議会を実施する可能性がある。大幅な修正等がなければ書面にて内容の確認、承認可否の確認をさせていただく。承認後、3月末に摂津市一般廃棄物処理基本計画中間見直し策定とさせていただく。

臨時の審議会がなければ本日が委嘱期間中の最後の審議会となる。ご協力に心より感謝申し上げます。

以上